

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	家族とのコミュニケーション不足で明確な終末期の方針が立てにくい。(具体的にどういう状態になったら病院へ行くか。家族にどのように伝えるか)	家族と密にコミュニケーションをとりながら良い終末期が向かえられる様に取り組む。	家族と定期的に連絡を取り合いその状態に応じて家族の意向を充分把握する。それを職員間で共有し話し合って進めていく。	6 か月
2	33	個別対応の時間が少なく本人の意向の把握が難しい時がある。(自分の意思がなかなか言えない方、分からない方)	一人ひとりの意志や好みを把握し楽しみや張り合いが持てるように日常生活を支援する。	なにげない日常生活の中でコミュニケーションを持ち、その人固有の楽しみを見つけ出し活気ある楽しい生活が送れる。	6 か月
3	23	入居者同士の会話が噛み合わず意志の疎通が難しい時がある。	皆さんと仲良く会話が出来、一緒に居ることで楽しみや喜びを共有できるようになる。	その場の話が理解出来ない方には職員が話しの架け橋になり、楽しく皆さんと過ごせるように支援する。	6 か月
4	21				か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。